

学校と地域でつくる、 これからの三木中学校の部活動

「学校」を軸に、地域とともに
子どもたちの「やってみたい」と「安心」を
守ります



部活動は、学校教育の一環です

次期学習指導要領でも、部活動は教育課程外ではあるものの「学校教育の一環」として位置づけられる見通しです。部活動は、技術や体力を身につけるだけではありません。仲間と目標に向かって努力すること、工夫すること、互いに支え合うこと。そうした経験が、生徒の成長につながります。



1町1中学校の特長を生かして

三木町では、部活動の教育的意義を大切にしながら、1町1中学校の特長を生かし、学校と地域が協力する「部活動地域連携」を進めています。



「習い事」にならない部活動を

地域との連携が進む中で、参加費や活動場所への移動、保護者の送迎などが家庭の負担となることも考えられます。三木町が大切にするのは、部活動を「習い事」に変えるのではなく、学校教育としての価値を守りながら地域の力を取り入れること。家庭の事情によって活動機会に差が生じないように配慮し、誰もが参加しやすい仕組みを考えていきます。



放課後の「居場所」として

部活動には、生徒にとっての大切な居場所という役割もあります。

- 「今日も仲間に会える」
- 「友達と一緒に活動できる」
- 「先生や指導者が見守ってくれる」

三木町は、部活動を単なる競技・活動の場ではなく、生徒が目標をもち、仲間とつながり、自分らしく成長できる場所として大切にしています。

急いで変えるのではなく、
みんなで、少しずつ。



子どもたちが、仲間とともに
「がんばりたい」と言える放課後を。



地域指導者を募集しています

子どもたちが三木中学校で生き生きと活動できる未来を守るため、地域の力をお貸しください。皆様からのご連絡を心よりお待ちしております。

問い合わせ先
三木町教育委員会
教育総務課

087-891-3313



「地域に任せる」のではなく 「学校と地域で支える」

すべてを学校だけで担うことにも、すべてを地域に任せることにも課題があります。そこで、教員、部活動指導員、地域指導者らが、それぞれの力を生かして協力します。

- ✓ 教員だけに負担を集中させない
- ✓ 地域だけに任せない
- ✓ 生徒や家庭に新たな負担をできるだけ生じさせない

みんなで少しずつ支える部活動を目指します。



「安心して任せられる」地域連携へ

地域の方々との関わりは、生徒にとって新しい出会いや学びにつながります。一方で、子どもたちと接する大人が増えるからこそ、安全・安心を守る仕組みも必要です。

令和8年12月25日には「こども性暴力防止法」が施行されます。三木町でも、関わる人や活動環境、相談先などを明確にし、子どもたちが安心して活動できる環境を整えていきます。

三木町が大切にする5つのこと

01



教育的意義

挑戦・協力・責任感・仲間とのつながりを大切にします。

02



学校を軸に

生徒の学校生活と部活動とのつながりを大切にします。

03



地域の力を生かす

部活動指導員や地域の経験者など、地域の力を取り入れます。

04



家庭の負担に配慮

参加費や送迎などが過度な負担とならない仕組みを考えます。

05



安全・安心を最優先に

子どもの人権と安全を守る意識を、関わるすべての大人が持ちます。



部活動の未来を考えることは、子どもたちの放課後をどう支えるかを考えることです。学校、家庭、地域がそれぞれの力をもち寄り、子どもたちの活気と笑顔があふれる学校をつくり、校風への愛着と誇りを育てていきます。三木町は、部活動の教育的な価値を大切にしながら、当面「部活動地域連携」を一歩ずつ進めていきます。



R8.10.